

電通の社会貢献活動

いま、電通社員の手で行われていること

2013年6月4日

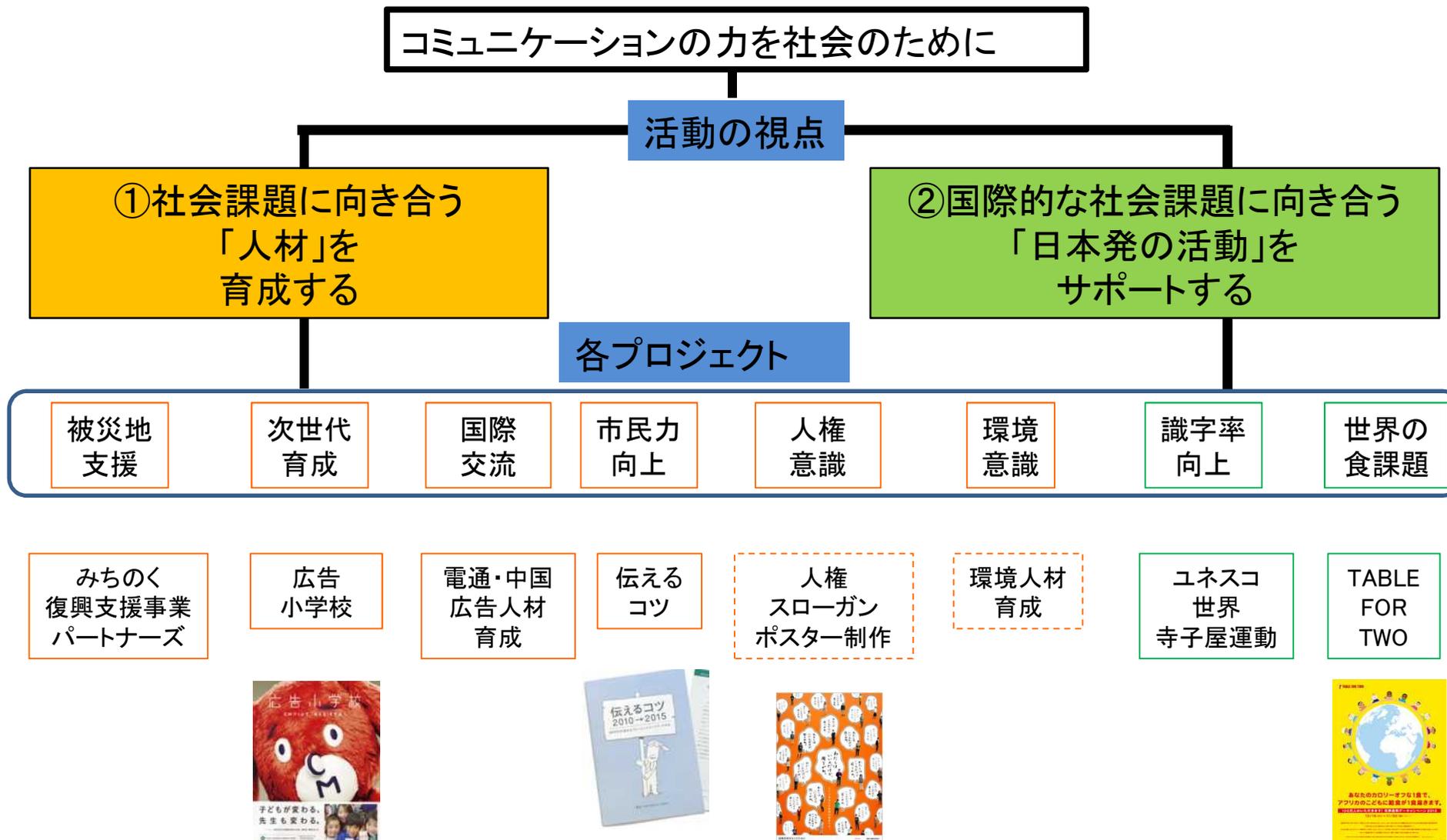
(株)電通 社会貢献・環境推進部

電通の社会貢献活動のテーマ

『コミュニケーションの力を
社会のために』

プロジェクトの構成

基本方針のもと、ふたつの視点を設定し、プロジェクトを構成。



事例 1

「南三陸の森 希望のポスト」プロジェクト

1. 背景 ①

電通 × 日本ユネスコ協会連盟の10年に亘る持続的なパートナーシップ活動

ユネスコ世界寺子屋運動支援

書きそんじハガキを回収・提供する形で「ユネスコ世界寺子屋運動」を支援。グループ会社への協力呼び掛けの他、隣接商業施設にも専用ポストを設置。



書きそんじハガキ提供ご協力
呼び掛けポスター



隣接商業施設に設置された
書きそんじハガキ専用ポスト

1. 背景 ②

みちのく復興事業パートナーズを通じての出会い 復興元年の被災地支援活動

3.11以降、様々な被災地支援を実施してきた経緯から、南三陸町の役場、現地の復興リーダー、彼らを支援するNPO(ETIC.)、葦の浜の植林組合等の、様々なステークホルダーとの出会いが生まれた。地域密着型・中長期視点での新しい取り組みへの機会となった。



復興元年を迎えた
南三陸町



南三陸町・葦の浜植林組合
との出会い

2. 2つの課題

①ユネスコ世界寺子屋運動支援

10年の節目に
更なるパートナーシップを。

10年目の飛躍

持続的な発展
日本独自の活動の更なる進化

②復興元年の被災地支援

地域密着型、中長期視点の新
しい支援の形を。

被災地のみんなの気持ち

支援への感謝
地域の中長期復興への希望

×

2つの課題を共有できる解決策はないか？

3. 解決のアイデア



～復興の希望を、世界の希望へ～

南三陸の間伐材で、寺子屋運動の回収ポストを

寺子屋運動の発展と
被災地のみなさんの気持ちを反映したものが実現。₇

4. 電通の強み

コミュニケーションの力を
社会のために。

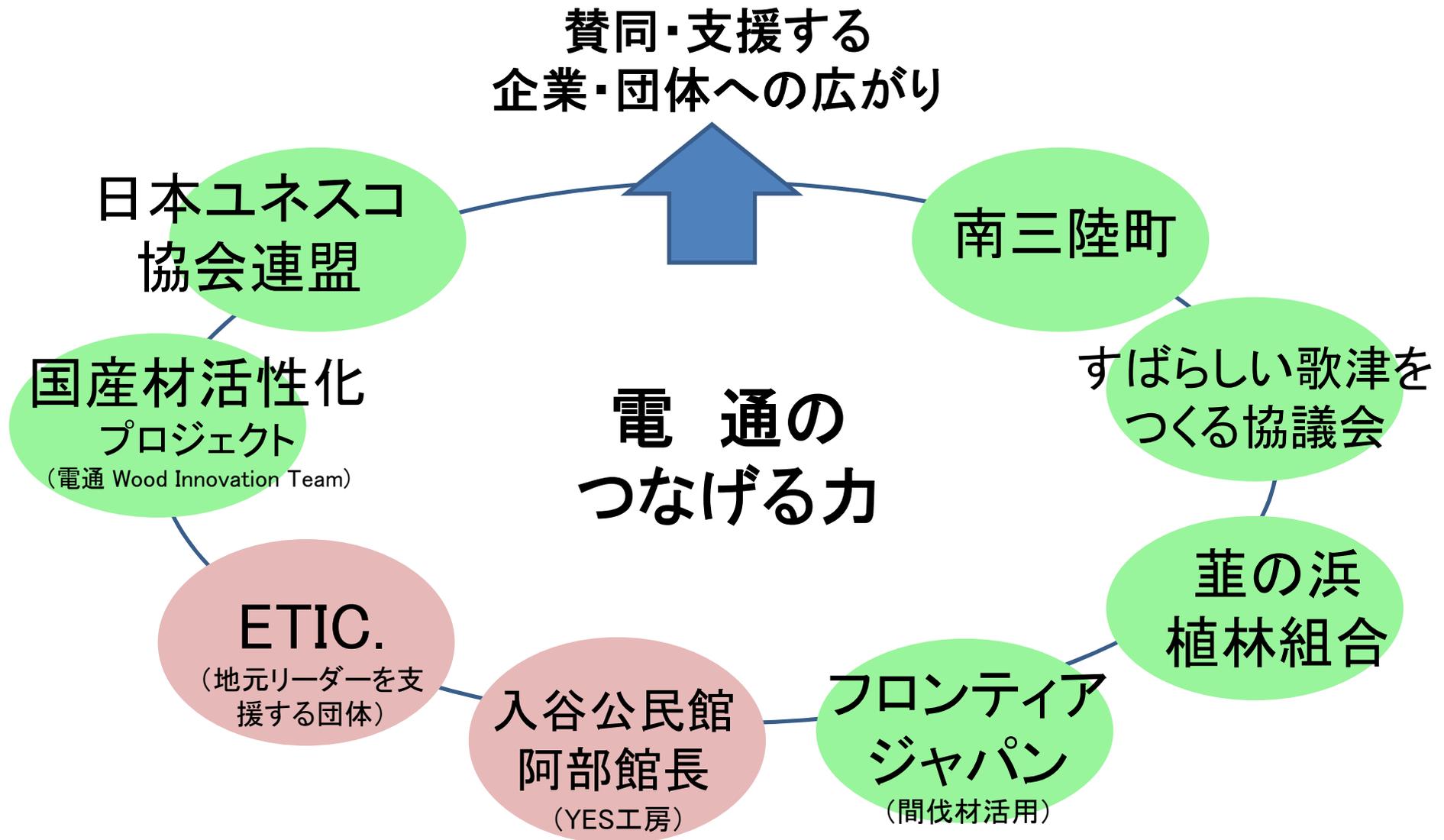
つなげる力

プロデュース力

つたえる力

コミュニケーションデザイン力

5. つなげる力 = プロデュース力 ①



様々なステークホルダーを一つにまとめるプロデュース力。

5. つなげる力＝ プロデュースカ ②

子どもたちが世界に目を向ける、視野を広げられる
自分たちの町は自然が豊かであるということを
誇りに思える機会になりました！



先生

自分の町で育った木がこんな形できれいに
生まれ変わって、これ、子どもたちの希望に
つながりそうです。きっとみんなに愛してもらえそうです。



南三陸町役場の方

つなげる力

地元の森を活用することで、
CSV (Creating shared value) の
実践につながっていると思います。

自分が切った木が世界に向けて
発信されてどなたかの役に立つ
とてもうれしいです。

人が救える、学校に通える
そういうプロジェクト関われる幸せ。
自分たちも元気になったので恩返ししたい。



フロンティアジャパン



YES工房

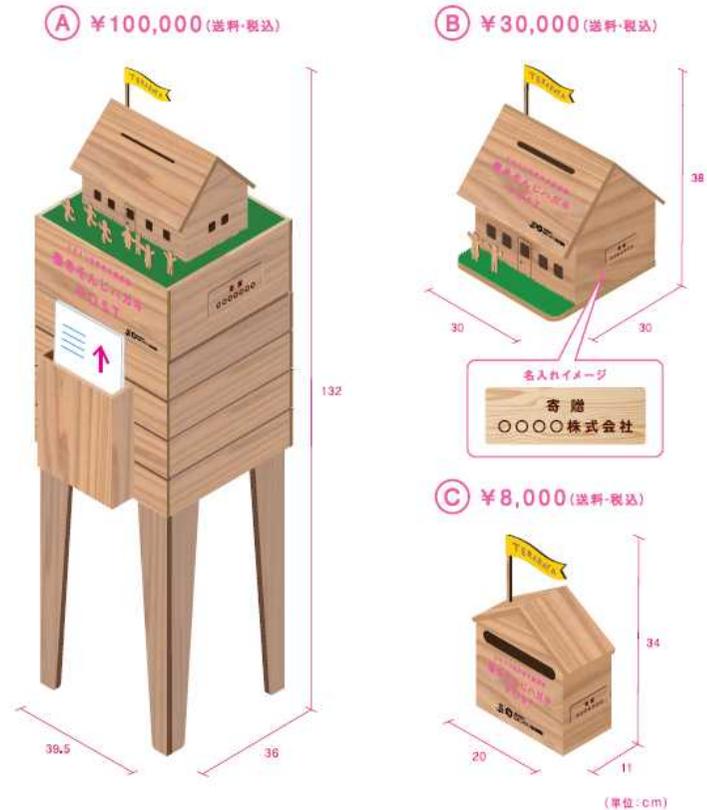


植林組合の方

6.つたえる力 = コミュニケーションデザイン力 ①

〔書きそんじハガキ回収ポストのご注文について〕

ポストは以下の3種類から選んでご注文いただけます。ポストはご注文を受けてから国内で制作し、完成次第、ご指定の宛先に送付させていただきます。詳しくは下記までご連絡ください。なお、ポストにはご希望により、寄贈者としての名入れが可能です(下記名入れイメージ参照)。



南三陸の森から
 世界の子どもたちへ、
 希望を届けます。

復興の希望を、世界の希望へ。
 復興を祈りこえた南三陸の森の復興材が、ユネスコ世界寺子屋運動の書きそんじハガキポストに生まれ変わりました。
 11枚集まれば、カンボジアではびとりがひと月学校に、あなたの書きそんじハガキで、世界に学びのチャンス。

世界中の友だちを、
 こんどはみんなで支える番。

復興の希望を、世界の希望へ。
 復興を祈りこえた南三陸の森の復興材が、ユネスコ世界寺子屋運動の書きそんじハガキポストに生まれ変わりました。
 11枚集まれば、カンボジアではびとりがひと月学校に、あなたの書きそんじハガキで、世界に学びのチャンス。

コミュニケーション
 ポスタークリエイティブ制作

間伐材を生かした寺子屋型ポストデザイン

6.つたえる力＝コミュニケーションデザイン力 ②



コミュニケーション映像制作

報道関係 各位
News Release

2013年5月10日
公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
株式会社 電通

日本ユネスコ協会連盟&電通「南三陸の森 希望のポストプロジェクト」

復興の希望を、
世界の希望へ。



被災地・南三陸町の間伐材が、
書きそんじハガキ回収ポストに。

南三陸の役場と5つの小学校に寄贈。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と株式会社電通は、被災地・南三陸町の森の間伐材でつくった「書きそんじハガキ回収ポスト」を全国に広げていく「南三陸の森 希望のポストプロジェクト」を立ち上げました。5月15日、南三陸の役場と5つの小学校に寄贈し、集まった書きそんじハガキは「ユネスコ世界寺子屋運動」に活用します。世界中から集まった復興応援メッセージへの感謝を込め、南三陸の資産を生かして世界に希望を届けます。
*5月10日、日本ユネスコ国内委員会に寄贈。



賛同企業・団体を募集! 全国100カ所設置へ。

本プロジェクトは、賛同する企業や団体にポストをご購入いただき、自社や小学校等に設置していただく仕組みで成り立っています。すでに多くの企業・団体からご賛同いただき、2013年内に全国100カ所での設置を目指します。
*ポストのサイズおよび価格などの詳細は、次頁をご参照ください。*個人でポストをご購入いただくこともできます。

11枚のハガキで、ひとりがひと月学校に通える。

書きそんじ50円ハガキは1枚につき45円の募金となり、11枚集まればカンボジアではひとりがひと月学校に通えます。世界に6100万人もいる学校に行けない子どもたちのために、また、6人に1人と置われる読み書きができない大人たちのために、このポストの普及が、「ユネスコ世界寺子屋運動」を支えます。



*ポストに集まったハガキは、次頁の冊付先にお送りください。

メディアリリース

7.デビュー ①

文科省 日本ユネスコ国内委員会さまへ寄贈(5/10)



7.デビュー ②

南三陸町 役場 & 5つの小学校へ寄贈



事例 2 「広告小学校」プロジェクト



コマーシャルが
好きな犬・・・
コマ犬です

1. プロジェクトが始まったきっかけ



「広告小学校」は、一人の社員の
「子どもたちにはメディアリテラシーが必要ではないか」「伝えること
のプロである私たちなら、プログラム作成が
できるのではないか」という思いからスタート。

東京学芸大学附属世田谷小学校の先生方と、
3年かけてプログラムをつくりあげました。
60時間に及び授業を行う中で、
コミュニケーションが培われるプログラムへと進化しました。

2.「広告小学校」の特徴



CMに正解はありません。

コミュニケーションとは、
自分が伝えたいことを伝えるだけでなく、
相手を認め、理解した上で「伝え合う」ことです。

友達が自分の意見や「自分のよさ」を認めてくれる
ことを体験し、自己肯定感が高まります。

3.これまでの実績と声



2013年現在 実施校135校・体験生徒数1万3500人

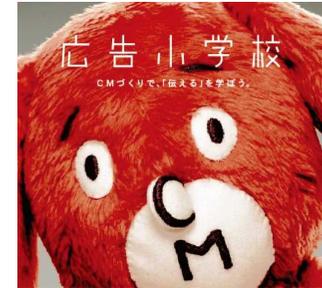
北海道から九州まで、そして香港の日本人学校でも実施

小学校に限らず、中学(16)・高校(6)・大学(3)でも実施

「生徒の変化を目の当たりにして、このプログラムの力を
実感しました」(先生)

「相手の立場になって考えることの大切さがわかりました」(生徒)

4.授業風景



TVフレーム(ダンボール製)
も貸出教材のひとつです。

電通から 教材DVD、ポスター、修了証、
学習指導案などを提供しています。
「広告小学校♪」の校歌も作ってあります。

5.受賞しました



◆2011年度グッドデザイン賞◆
カテゴリー：社会貢献活動のデザイン

◆第2回キッズデザイン賞◆
審査委員長特別賞
社会貢献企業賞

♪～ ああ われらの 広告小学校
ずっきゅん どっきゅん ばっきゅん 胸を打つ ♪ （「広告小学校校歌」より）

ご清聴 有難うございました